

日頃からあなたの避難行動を確認しましょう



ここだけは
押さえておこう！



能美市
ホームページ
緊急情報

備える

災害が起きたとき、身を守り、落ち着いて行動できるよう、日頃から備えることが大切です。

ハザードマップの見方を確認しよう

1 知りたい地点を選ぶ

いま自分のいる場所を確認しましょう。



2 色のちがいを知る

洪水時に想定される浸水範囲と浸水深ごとに分かれています。



3 記号を知る

避難時に注意を要する区域は、早期避難できるように備えておきましょう。



津波について

ハザードマップの津波災害警戒区域だけでなく、隣接する砂丘の海よりの地域にあつては、大規模な津波が発生した場合は浸水する可能性があるとして、日頃から最寄りの緊急避難場所を確認し、準備をしましょう。

防災グッズの準備

災害時の状況に合わせて「携行品」「非常用持ち出し袋」「備蓄品」の3段階の備えをしましょう

携行品 外出先で被災したときに役に立つもの

食料	水	役に立つ道具
あめ、チョコレートなど	ペットボトル入飲料水	笛、携帯電話の予備バッテリー、懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池

備蓄品 ライフラインがストップした中、自宅で数日乗り切るためのもの

調理器・燃料	食料	水
カセットコンロ、ガスボンベ、炭、固形燃料	お米、乾麺、缶詰、レトルト食品、お菓子	一人あたり1日3リットルの飲料水(健康7日分) 飲料水以外の水(ポリタンクなどで備蓄)

非常用持ち出し袋 避難の際に緊急的に自宅から持ち出すもの

食料	水	薬
アルファ米、缶詰、お菓子など 運びやすく火を通さずに食べられるもの	自分で運べる量のペットボトル入飲料水	いつも服用している薬とお薬手帳、虫よけ、消毒液、ばんそうこう、かぜ薬

非常用トイレ用品

役に立つ道具
ランタン、懐中電灯、ラジオ、乾電池、発電機、投光器、紙皿、紙コップ、わりばし、ウェットティッシュ

Point 1
避難するときは、必要なものを、自分でそろえて避難所に行きましょう。

メガネ、歯ブラシ、コンタクトレンズなど

Point 2
家庭によって個別の事情があるので、必要な持出品を準備しましょう。

哺乳瓶、粉ミルク缶、紙おむつ、ベッドパッドなど

能美市防災ガイドブックも確認しておこう

能美市防災ガイドブック

貴重品

役に立つ道具
携帯電話の充電器、懐中電灯、携帯ラジオ、笛、生理用品、タオル、着替え、乾電池、万能ナイフ、ヘルメット、軍手、ウェットティッシュ

前提となる降雨・土砂災害・津波の条件等

【洪水 浸水想定区域について】

- 国や県が公表した想定最大規模降雨とは、1,000年毎に1回発生する周期的な降雨ではなく、1年間に発生する確率が1,000分の1 (0.1%) の降雨を表します。毎年の発生確率は小さいですが、規模の大きな降雨であることを示しています。この想定により下記の対象河川が氾濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせて、最大の水深および最大の範囲を表示しています。
※対象河川と浸水想定区域の指定年月日 手取川、梯川…平成29年4月17日(国土交通省) 鍋谷川…平成30年7月26日、令和5年5月19日(石川県) 西川流域、熊田川流域、八丁川流域、館谷川流域、仏大寺川流域…令和5年5月19日(石川県)
- 浸水の予想される区域およびその程度は、雨の降り方や土地の変化、河川の整備状況などにより変化することがあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。
- 想定し得る最大降水量 手取川流域…539mm/24時間 梯川流域…350mm/9時間 西川流域、熊田川流域、八丁川流域、鍋谷川流域、館谷川流域、仏大寺川流域…813mm/24時間
※注意：支川や隣接する他河川の氾濫のほか、想定を超える降雨や高潮、内水による氾濫等は考慮していません。

【土砂災害（特別）警戒区域について】

- 石川県が指定した土砂災害（特別）警戒区域をもとに表示しています。雨の降り方や土地の状態によっては、この地図に示した区域以外でも土砂災害が発生する可能性があります。
※土砂災害警戒区域のデータは石川県土木部砂防課より令和3年2月2日までに告示された地域のデータを使用しています。

【津波災害警戒区域について】

- 石川県が指定した津波災害警戒区域をもとに表示しています。指定されなかった地域でも浸水が発生したり、指定された地域においても基準水位より高い水位となる可能性があります。
※津波浸水想定区域のデータは石川県土木部河川課より令和5年3月10日告示のデータを使用しています。

身を守る

災害発生時に備えて、自分や家族の身の安全を守るための行動を確認しましょう。

大雨・台風が来たとき

**危険な場所にいる場合は、非常用持ち出し袋を持って
明るいうちに避難しましょう！**

最新の気象情報をチェックして危険度を確認することが大切です。



警戒レベル	警戒レベル	警戒レベル	警戒レベル	警戒レベル
1 災害への心構えを高める	2 自らの避難行動を確認	3 避難に時間を要する人は避難	4 危険な場所から避難	5 緊急安全確保
早期注意情報 (気象庁が発表)	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 (気象庁が発表)	高齢者等避難 (市が発令) 災害のおそれ あり 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 (気象庁が発表)	避難指示 (市が発令) 災害のおそれ 高 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 (気象庁が発表) 必ず全員避難	緊急安全確保 (市が発令) 命の危険 直ちに安全確保! 今いる場所で少しでも高い場所に、 壁から離れた部屋に移動

一気に進む場合もあります

警戒レベル4までに必ず避難 避難ルートが冠水する前に避難を終えてください

1 今いる場所は、ハザードマップの家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない場所ですか？



確認 1~3の条件がすべて揃っている場合は、屋内で安全確保することも可能です。

2 浸水深より居室は高い場所にありますか？



3 水が引くまでの備蓄がありますか？



地震が発生したとき

能美市に津波警報・大津波警報が発表された場合は、落ち着いて安全な場所に避難しましょう。

海岸にいるとき

できるだけ陸のほうに向かって逃げましょう。



室内にいるとき

あわてずに、揺れがおさまるまで「しゃがむ」「かくれる」「じっとする」を実践しよう。



車内にいるとき

まわりの車に注意しながら、ハザードランプをつけてゆっくり減速しましょう。



倒壊・落下物には注意

落下物やガラスの破片などでケガをしないように靴をはいて移動しましょう。



メモなどに使ってね!

